

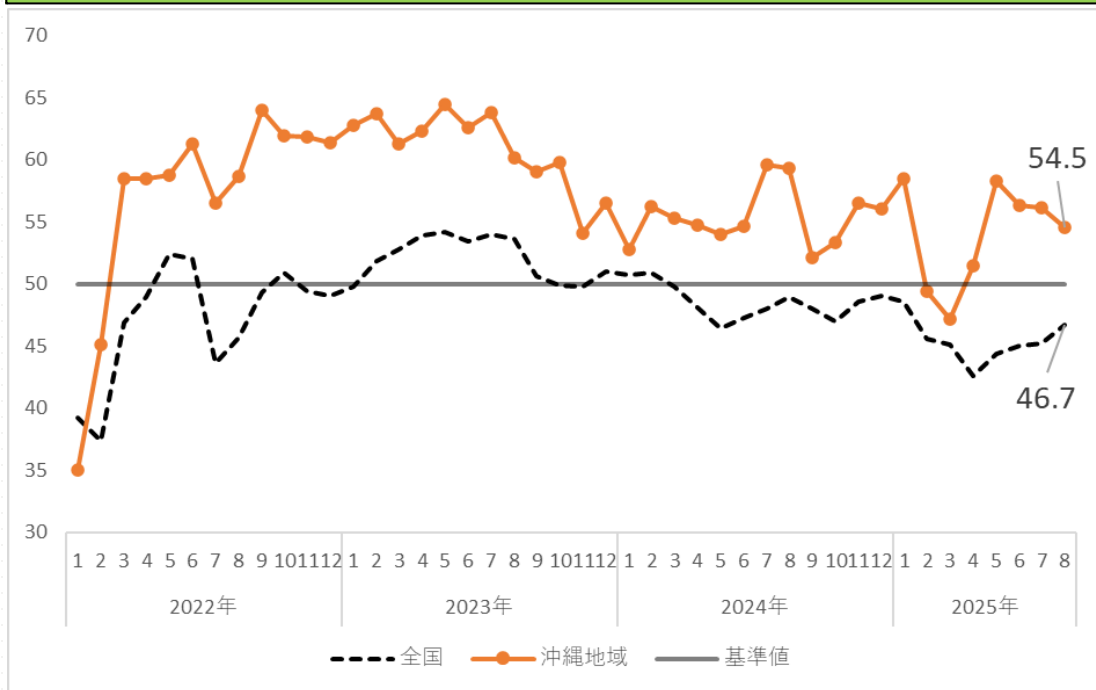
景気ウォッチャー調査 (沖縄地域) ～2025年8月調査～

現状では夏休みや大型レジャー施設の影響もあり好況続く
先行きでは大型レジャー施設へ期待と物価高への懸念が続く見通し

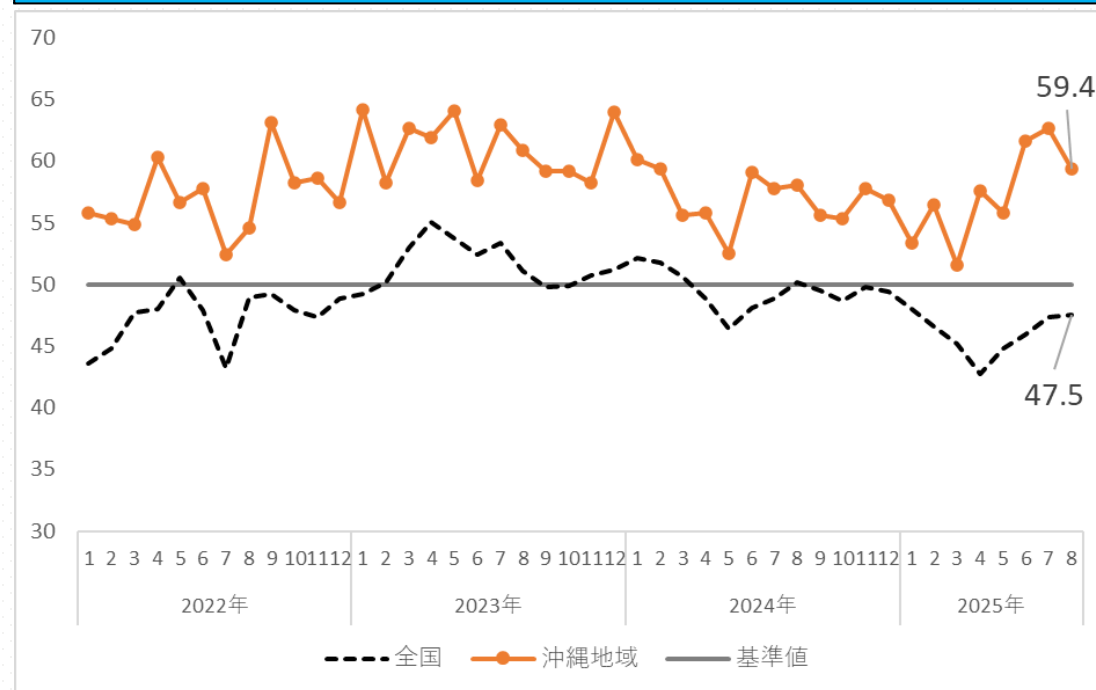
2025年8月調査DI値（季節調整値）

- 現状判断DIは、前月比1.6ポイント低下の**54.5**と3か月連続の低下となったが、好不調の判断基準となる50を上回り好況である。
- 先行き判断DIは、前月比3.3ポイント低下の**59.4**と3か月振りの低下となったが、判断基準の50を上回っていることから2～3か月後の景気動向も好況が続く見通しである。
- なお、全国の現状判断DI値は46.7、先行き判断のDI値は47.5と共に前月比で上昇したが、判断基準となる50を下回り、不況が続いている。

現状判断DI値（季節調整）



先行き判断DI値（季節調整）



現状判断のコメント①

- 「家計動向関連」では、大型レジャー施設開業の影響もあり、来客数の増加が売上をけん引している。また、観光名所では前年度と比較し、平日の観光客が伸び、インバウンドの来客が増加傾向であることから観光需要は好調である。
- 一方、衣料品専門店では、夏休みに入り来客は増加したものの、物価高の影響により販売量が伸びていない状況もみられた。
- 県内需要に関しては、お中元ギフトが増加しているものの、旧盆が9月にずれ込んだことに加えて、天候不良による夏野菜の高騰など物価高が消費者の行動に影響を与えている。
- 通信会社でも新料金プランによる需要の増加が一段落したことにより、来客数が減少していることなどからも県内需要の落ち着きがみられる。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○	百貨店	<ul style="list-style-type: none"> お中元ギフト目的やインバウンドの来客数が増加している。
○	その他飲食店	<ul style="list-style-type: none"> 大型レジャー施設開業の影響もあり、入域観光客数の増加による来客数の増加が売上をけん引している。
○	観光名所	<ul style="list-style-type: none"> 前年度と比較して、平日の来客数が伸びている。また、インバウンドの来客数が増加傾向である。
□	スーパー	<ul style="list-style-type: none"> 天候不良による夏野菜の価格高騰が止まらず、通常価格での販売が伸び悩み、消費者の購買は特売日にシフトしている。お盆商戦も9月にずれ込んでおり、例年どおりの数字は見込めない。
□	衣料品専門店	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに入って来客数は増加したが、物価高の影響により販売量はそれほど伸びていない状況である。
▲	通信会社	<ul style="list-style-type: none"> 新料金プランの発表が一段落したことで、来客数が前月より減少傾向にあり、販売機会が縮小している。

現状判断のコメント②

- 「企業動向関連」では、観光業は変わらず好調であるが、物価高により消費者の動きが低調となっている。さらに雇用者の給与への還元が不透明であることも県内需要の減少に影響している。
- 「雇用関連」では、人材派遣において求人に対する応募者が少なく、人手不足感が続いている。
- その他、学校においては、2026年卒の求人が前年に比べて減少している一方で、2027年卒のインターンシップの案内が増加がみられる。また、雇う側は、物価高騰の継続と人件費高騰によるひっ迫した様子もみられている。

<企業動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

<input type="checkbox"/>	食料品製造業	• 変わらず観光関連は好調に推移している。一方、今年の旧盆は9月になる影響か、もしくは物価高の影響により、消費者の動きが例年になく低調である。
<input type="checkbox"/>	会計事務所	• 県内の観光業を中心に活況であるが、雇用者の給与などへの還元が浸透しているかどうか不透明である。

<雇用関連>

<input type="checkbox"/>	人材派遣会社	• 求人案件に対して応募者数が少なく、人手不足感は変わらない。
<input type="checkbox"/>	学校【専門学校】	• 2026年卒向け求人数は、前年の同時期より減少している。一方、2027年卒向けのインターンシップの案内が増えている。
<input type="checkbox"/>	学校【大学】	• 雇う側は、物価高騰の継続に加えて、人件費の高騰によりひっ迫しているようにもみられる。バランスが取れてくるまでは、しばらく危機感が続くものとみられる。

先行き判断のコメント①

- 「家計動向関連」では、今後も大型レジャー施設開業による観光需要の増加が期待されている。さらに、観光以外でも県外からの移住や投資なども期待されている。
- 観光名所においては、インバウンドの高単価商品購入による客単価の上昇とレンタカーでも先行きの受注状況が前年を上回っていることから観光需要の増加が期待されている。
- 一方、観光型ホテルでは、夏休みの終了による大型レジャー施設需要の落ち着きに加え、価格上昇が継続することで消費マインドが低下するとみている。
- その他飲食店でも、夏季に比べると厳しい状況だが、大型レジャー施設への影響がしばらく続くことから、前年と比較すると良くなるとみられている。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○	その他専門店 [書籍]	大型レジャー施設の開業などで沖縄に注目が集まっている。また、大阪・関西万博が10月に閉幕することから、それ以降は更に沖縄への観光需要が高まるとみている。
○	観光名所	インバウンドが増加傾向にあるため、単価の高い商品が売れ、全体的に客単価が上がるとみている。
○	その他サービス [レンタカー]	先行きの受注状況は前年を上回って推移している。特に個人利用が伸長しており、トレンドとなっていることから今後の需要も期待できる。
○	住宅販売会社	北部の大型レジャー施設の開業もあり、県外からの移住者や投資などが期待される。
□	観光型ホテル	夏季休暇シーズンを終え、大型レジャー施設需要が一旦落ち着くことに加え、価格上昇傾向が継続しており消費マインドは戻らないとみている。
▲	その他飲食店 [ファーストフード]	10～11月は夏季に比べると厳しいが、前年と比較すると良くなるとみられる。特に、北部地域は大型レジャー施設の影響がしばらく続く見込みである。

先行き判断のコメント②

- 「企業動向関連」では、建設業や観光は好調だが、広告代理店においては、仕入れコストや人件費高騰により販売促進費用の増加が期待できないことを懸念している。さらに、会計事務所では、物価や為替の影響を吸収できない事業者の事業継続が見通せないことを懸念している。
- 「雇用関連」では、求人情報誌において、例年10月頃から年末年始に向けて商業施設や小売業が繁忙期を迎えることからサービス業などの求人の増加が期待されている。
- さらに、2027年卒向けのインターンシップに参加した学生から早期選考の案内がある場合もあることから、新卒の確保に向けた動きが活発になるとみられる。

<企業動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

◎	建設業	・ 今月は、公共工事、民間工事とも受注できたことに加え、2か月以内に大型工事の受注も見込んでいる。
□	広告代理店	・ 観光が好調に推移するなか、県内企業の売上は伸長している。一方、仕入コストや人件費などの高騰が続いており、販売促進費用の増加は期待できない。
□	会計事務所	・ 物価や為替の影響を各事業者が吸収し事業継続できるかどうかが見通せない。

<雇用関連>

○	求人情報誌製作会社	・ 例年10月頃から年末年始にかけて商業施設や小売業では繁忙期を迎えるため、サービス業や販売、飲食分野における求人需要の増加が期待できる。
○	学校	・ 2027年卒向けのインターンシップに参加した場合、早期選考の案内がくるケースもある。学内説明会の依頼も多いため、それに向けて求人があるとみている。

<用語の説明>

【景気ウォッチャー調査】

- 地域の景気を観察できる立場にある人々から、統計指標だけでは把握できない顧客の様子など日々感じている街角の景気動向を迅速に把握するため、毎月実施されている調査。

【DI値】

- 物価などの景気変動に関する複数の指標から、景気の方方向性や各経済分野への波及度合いを示す。値が50を上回ると景気が好況傾向にあり、50を下回ると不況傾向にある。

【季節調整値】

- 季節的な要因で毎年同じような動きをするもの（夏になるとアイスクリームが沢山売れるなど）があることから、前月や前々月と比較する際に季節的な要因を除いた数値。

【現状判断(景気の方方向性)】

- 3か月前の景気状況と比較した、今月の身の回りの景気的具体的な状況などの説明。

【先行き判断】

- 2～3か月先の身の回りの景気を今月の景気と比較した際の判断理由。

※本資料は、2025年9月8日に内閣府が公表した「景気ウォッチャー調査」をもとに作成しています。詳細な結果は下記URLからご確認ください。
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/2025/0908watcher/menu.html>